

■ 評価項目一覧(提案要求事項一覧)

提案書の目次		得点配分			評価基準	
大項目	中項目	合計	基礎点	加点	基礎点評価の観点	加点評価の観点
1 事業の目的、内容、および実施方法	1.1 事業目的	5	5	—	・事業の目的が、仕様書等に記載されている本事業の目的と合致しているか	—
	1.2 事業内容	25	5	20	・事業の内容が、仕様書等に記載されている事業内容と合致しているか	・事業の内容が具体的に記載されており、実現性を判断しやすい内容となっている ・来年度以降の運用拡大に向けた考慮がなされている
	1.3 事業実施方法	25	5	20	・事業の実施方法が、事業目的、事業内容と整合しているか	・実施方法が具体的に記載されており、実現性を判断しやすい内容となっている ・実施可能性を高めるための検証方法等が示されている ・実施環境に応じた安全対策の工夫がある ・当該地域の課題（高齢化、人口減、ドライバー減、事業者調整等）把握が明確で対応策案が具体的である
2 事業実施計画	2.1 事業実施計画	25	5	20	・事業実施計画に、事業を適切に実行する根拠（人員・手順等）が示されているか	・事業実施計画に、仕様書等と合致して以下の内容が示されている － 事業期間 － 内容ごとの実施期間とマイルストーン、報告時期（必要な場合） － 事業実施手順について、効率的に実施するための工夫がある ・手戻りが生じない管理手法を採用している （定期的に当機構と打合せし方向性をすり合わせる、PDCAサイクルを構築する、など）
3 事業実施体制	3.1 事業実施体制・役割分担	15	5	10	・事業の実施体制図及び役割が、事業内容や事業実施計画と整合しているか ・要員数、役割分担が明確か ・事業遂行可能な人数が確保されているか	・当機構からの要望等に、迅速且つ柔軟に対応可能な体制を備えている ・欠員が出る等、不測の事態が生じた場合でも、継続して事業を実施できる体制である （欠員と同程度のスキルを持った人員をアサインできる、事業の進捗状況を組織内で共有しており他人員への引継ぎが容易である、など）
	3.2 組織としてのネットワーク・人的基盤	15	5	10	・組織として、事業内容に関する専門知識・ノウハウ等があるか	・組織として、類似事業実績がある ・組織として、事業内容に活かすことができる専門知識・ノウハウ・ネットワーク等がある
	3.3 事業従事予定者の専門性・類似事業実績	15	5	10	・事業従事予定者に、事業内容に関する専門知識・ノウハウ等があるか	・事業従事予定者に、事業内容に活かすことができる類似事業実績、専門知識、ノウハウ、資格等がある ・事業従事予定者が、当該地区事情に詳しく、当該事業の関係者（行政、事業者、公社、利用者）等との人脈がある。
	3.4 事業遂行のための経営基盤・管理体制	10	5	5	・一定以上の資金・設備を有していること。 ・事業を遂行する部門の他、管理部門、内部統制部門等があり、管理、統制されている組織であること。 ・情報管理に関する社内規程がある、情報管理に関する資格を取得している等、情報管理責任者が明確化されている情報管理体制があること。	・経理処理・管理の体制が確立していること。（社内別組織として整理している、経理処理システムを導入している、帳票類の管理・保管ルールがある、など。） ・情報管理について公的な資格（ISO認証等）を取得していること。 ・情報セキュリティに関する社内規程の整備、アクセス制御、ログ管理、事故時の報告体制の有無、社員教育など、組織的かつ継続的な管理体制を取っていること。

135 40 95